

# 「学習内容シート」中学校第1学年



中学校数学で学ぶ  
内容を確認しながら  
学習を進めましょう

組 号

名前

学習した内容がどれくらい  
分かったか、当てはまる  
番号に丸を付けましょう。  
1...よく分かった  
2...まあまあ分かった  
3...あまり分からなかった  
4...分からなかった

<領域>	<中学校第1学年で学ぶ内容一覧>	教科書の 該当 ページ	内容の 理解度 チェック
A 数と式	<中学校第1学年で学ぶ内容一覧> 1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。 内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれ くらい分かったか確認してみましょう。		
B 図形			
C 関数			
D 資料の活用			
A(1) 正の数と負の数	◎具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができる。【用語・記号】自然数、符号、絶対値 ・正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。 12~22   1 2 3 4 ・小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。 23~46   1 2 3 4 ・正の数と負の数の四則計算をすること。   1 2 3 4 ・具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。 47~49   1 2 3 4 ・自然数を素数の積として表すこと。 補助教材		
A(2) 文字を用いた式	◎文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができる。【用語・記号】項、係数、 $\leq$ 、 $\geq$ ・文字を用いることの必要性和意味を理解すること。 54~57   1 2 3 4 ・文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。 58~64   1 2 3 4 ・簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。 65~72   1 2 3 4 ・数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。 73~76   1 2 3 4		
A(3) 一元一次方程式	◎方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができる。【用語・記号】移項 ・方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。 80~82   1 2 3 4 ・等式の性質を基にして、方程式が解けることを知ること。 83~85   1 2 3 4 ・簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。 86~100   1 2 3 4		
B(1) 平面図形	◎観察、操作や実験などの活動を通して、見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。【用語・記号】弧、弦、 $//$ 、 $\perp$ 、 $\angle$ 、 $\Delta$ ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解し、それを具体的な場面で活用すること。 136~142   1 2 3 4 149~157 ・平行移動、対称移動及び回転移動について理解し、二つの図形の関係について調べること。 143~148   1 2 3 4		
B(2) 空間図形	◎観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。【用語・記号】回転体、ねじれの位置、 $\pi$ ・空間における直線や平面の位置関係を知ること。 175~180   1 2 3 4 ・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすること。 166~174   1 2 3 4 181~186 ・扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めること。 159~162, 187~196   1 2 3 4		
C(1) 比例、反比例	◎具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。【用語・記号】関数、変数、変域 ・関数関係の意味を理解すること。 104~108   1 2 3 4 ・比例、反比例の意味を理解すること。 109~112, 120~123   1 2 3 4 ・座標の意味を理解すること。 114~115   1 2 3 4 ・比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。 116~119, 124~127   1 2 3 4 ・比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。 128~131   1 2 3 4		
D(1) 資料の分布	◎目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができる。※「誤差や近似値、 $a \times 10^n$ 」の形の表現は第3学年で学習する。【用語・記号】平均値、中央値、最頻値、相対度数、範囲、階級、累積度数(※用語「累積度数」は補助教材で学ぶ) ・ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。 200~215   1 2 3 4 ・ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。 218~220   1 2 3 4		
D(2) 不確定な事象の起こりやすさ	・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解すること。 補助教材   1 2 3 4 ・多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現すること。 7~11   1 2 3 4		



## <領域>について

中学校数学科の学習内容は、4つの領域に分けられています。  
 数学を学ぶ上で、基礎的な内容となる「A数と式」「B図形」の領域と、数学を活用する力を伸ばす「C関数」「D資料の活用」の領域があります。  
 4つの領域の間には密接な関連があるため、どの領域の内容も身に付けたいですね。

## チェックの後

丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分らないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 分らないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分らない内容と似ている算数の内容(小学校で習った)を探してみましょう。

▶「学習内容シート」の内容について

※一部

中学校数学で学ぶ「4つの領域」を表しています。

領域ごとに整理された学習内容(単元)のタイトルを表しています。

各単元において、「◎」は目標を、その後に続く「・」は学習する内容を、[用語・記号]は取り扱う用語や記号を表しています。

学習した内容がどれくらい分かったか確認した後に、理解度に応じて、新たな問題発見・新たな知識獲得をしたり学び直しをしたりするための学習の進め方(例)を示しています。



**中学校数学で学ぶ  
内容を確認しながら  
学習を進めましょう**

## 「学習内容シート」中学校第1学年

組 \_\_\_\_\_ 号 \_\_\_\_\_

名前 \_\_\_\_\_

学習した内容がどれくらい分かったか、当てはまる番号に丸を付けましょう。

1...よく分かった  
2...まあまあ分かった  
3...あまり分らなかった  
4...分らなかった

<領域>	<中学校第1学年で学ぶ内容一覧> 1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれくらい分かったか確認してみましょう。	教科書の該当ページ	内容の理解度チェック	
A 数と式	◎ 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができる。【用語・記号】自然数、符号、絶対値 ・ 正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。 ・ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。 ・ 正の数と負の数の四則計算をすること。 ・ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。 ・ 自然数を素数の積として表すこと。	~	1 2 3 4	
A(1) 正の数と負の数		~	1 2 3 4	
A(2) 文字を用いた式		◎ 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができる。【用語・記号】項、係数、≦、≧ ・ 文字を ・ 文字を ・ 簡単な ・ 数量の関	~	1 2 3 4
A(3) 一元一次方程式		◎ 方程式 ・ 方程式 ・ 等式の ・ 簡単な	補助教材	1 2 3 4
B(1) 平面図形	◎ 観察、推 ・ 理解を ・ 角の二等			

チェックの後は 丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 1...教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 2...定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 3...教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分からないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 4...分からないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分からない内容と似ている算数の内容(小学校で習った)を探してみましょう。